

令和7年度第4回 支えあいのまちづくり協議体(月島地域) 実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体(月島地域)」の令和7年度第4回目を、月島地域で開催しました。

1 実施日

令和7年2月27日(金) 14:30~16:00

2 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター 10名

3 内容

- ・各メンバー近況報告
- ・前回の振り返り
- ・意見交換

4 出席者近況報告

地域の様子や高齢者の現状について、各々から報告を行った。

- ✓ 春の花を見るのが楽しみで、来る途中に見た沈丁花の香りに元気をもらった。
- ✓ 家族のために「簡単見守りプラグ」を導入し、生活状況を把握できて役立っている。
- ✓ 高齢者のデジタル格差が大きな課題と感じている。東京アプリの生活応援事業も、操作できず利用できない人が多い可能性がある。地域として支援が必要。
- ✓ ボランティアの高齢化を実感する一方、皆がとても元気で、目的を持つことが生きがいにつながると感じた。同年代だからこそ分かり合えることも多いという参加者の話が印象的だった。
- ✓ 他区の敬老館では安否確認が十分でないことを知り、地域によって敬老館の見守り体制に差があると実感した。
- ✓ 自宅で亡くなった生活困窮の方について、火葬費や納骨先・部屋の片付けの相談があり、補助制度の案内や費用負担の少ない永代供養墓を紹介し、負担を抑えた。部屋の片付けについても低負担の業者を紹介。
- ✓ 地域住民からスマホ相談を受けた際に、警視庁のアプリ「デジポリス」を知った。海外番号からの着信拒否設定ができ、詐欺防止に有効なため地域で広めている。
- ✓ 毎年人形供養祭を開催している。会員は無料で、写真・アルバム・御朱印帳・木彫りなど人形以外も受付可能。供養を通して感謝の気持ちに触れる機会になれば。
- ✓ 今年のインフルエンザは流行が長引いており、例年なら収束する時期でも減らない。患者家族には面会制限の協力もお願いしている。
- ✓ フルマラソンに参加した際、高齢ランナーの努力に刺激を受け目標をもつことの大切さを感じ、自分の生き方も考える時間になった。
- ✓ ポッチャのイベントに参加し、高齢者の上手さに驚き、世代を超えて楽しめる魅力を実感した。高齢者の方にもぜひ体験してほしいと思った。
- ✓ 利用者が転倒し、医師から「骨がボロボロ」と言われて深く落ち込んでおり、医師の言葉が心に与える影響の大きさを改めて感じた。

5 意見交換

① まち歩きマップの作成について

- ・自転車や車のアイコンが危険箇所だと伝わりにくい可能性があるため、道路標識風の危険マークを使うと分かりやすい。「自転車スピード注意」など文字でも補足すると良い
- ・ホテルなど施設マークの大きさを統一した方が見やすい
- ・坂道で自転車のスピードが出て危険な場所や信号のない横断歩道を明示すべき。(晴海通りの高架下付近や黎明小橋付近など)
- ・安全に渡れる横断歩道を選んで推奨ルートを提案する
- ・信号に交差点名を入れる(月島警察署前・晴海3丁目など)
- ・入手可能場所の表記は確実に置ける場所のみに限定
- ・バス停は都営・BRT・江戸バスで色分けするとよい
- ・各施設のQRコードを載せると情報量が足りない部分をQRで補うことができる(病院・警察・おとしより相談センターなどの各施設や社協)
- ・A3を6等分に折る加工を印刷会社に依頼
- ・自治会には1枚ずつ送り、必要なら追加で送る
- ・マップ完成後、配架可能か施設へ交渉する

② 今後の取り組みについて

【マップ活用について】

- ・マップを今回で終わりにするのか、今後アップデートしていくのかを検討する必要あり
 - ・企画案:「私の好きな晴海の風景」写真展
 - ・住民からの投稿を社協HPやInstagram経由で受け付ける
- 撮影例:公園の花、夕焼け、夜景、はるみらいの食事写真、高層階からの眺め
- ・一年間投稿を集め、翌年度に写真展としてまとめる案(可能であればはるみらい等で展示)
 - ・配架場所にマップ作成とは別でチラシを設置、となりぐみ・ホームページで募集
 - ・インスタで「#晴海の風景」などのハッシュタグ利用

【次回スマサポ祭りについて】

- ・会場候補:スカイリンクタワー
- ・実施時期は猛暑を避ける必要があり早めの時期決定が望ましいが、マンション住民のみの参加とするのであれば時期は問わない
- ・臨港消防署によると防火防災診断を住民に広めたい意向あり。声をかければ参加・説明してくれる可能性がある
- ・まずは会場候補となるマンションに声をかけ、開催可能であれば防災企画に関しては消防署に参加を依頼
- ・会場交渉や準備の時間を考えると次回会議では遅い可能性があるため早めに企画開始が必要

6 次回の予定

次回の協議体は5月を予定。